常任委員会報告

総務文教厚生委員会

■今定例会の審議結果

審査の結果、議案3件については、全て可決しました。また、陳情1件については趣旨採択としました。

公民館の職員体制見直しについて

1 地元の意見と要望

現在の正規職員主事及び社会教育指導員に代わり嘱託職員2名を配置することについて、区長会及び公民館運営審議会に対し、人件費削減の理由や他市町の嘱託化の状況も加え改善案を説明して一定の理解を得ているものの次のような意見があります。

①嘱託化されても現在の業務を受け継いでほしい

②良い人材を求めるには賃金等待遇改善が必要である

③地元採用にこだわりすぎる必要はない

④嘱託主事の人事異動を検討した方がよい

⑤嘱託化はどの地区から開始するのか

2 改善案

①時間外勤務手当の支給、ヤル気向上に繋がる給与体系を検討する

②採用に当たっては、地元の意見を尊重しつつ地元の人材にこだわらない

③嘱託主事の人事異動は、嘱託化導入後地区の意見や勤務状況を参考に検討する

④嘱託化の順番については、市で計画案を作成し各地区へ提案する方向で検討したいと考える

3 今後の予定

課題となっている点を庁内で協議し市議会へ具体的案を示し意見をうかがう。その後、再度地元へ説明し理解を求めていく。

開始時期については、来年度を予定している。

以上の説明について委員からは、「市役所、行政とのつながりが希薄になるのではないか」「人件費削減で人を安く使うことにはならないか」等の意見がありました。

平成28年度勝山城博物館・勝山市連携共催展について

勝山市、勝山城博物館の連携共催展は平成26年度から開催され、今回で3回目となります。今回は、「すごいよ!!小笠原さん－小笠原流礼法を伝え、自ら芸術作品も残した殿さまたち－」と題して、歴代小笠原藩主に注目した展覧会が開催されます。

開催会場は、これまで同様、勝山城博物館の4階の企画展示室です。開催期間は、昨年と同様に夏休み期間を含めた7月20日から9月30日までの73日間で、開催期間中は毎日開館されます。

今回は、歴代小笠原藩主に焦点を当て、いかに多くのさまざまな文物を伝え、そして自ら筆を執って作品の制作に携わり、著名な礼法をまとめ後世に伝えてきたか、作品や資料をとおして紹介されます。

また、埼玉県三芳町では、「脱財政硬直化宣言について」視察を行いました。

総務文教厚生委員会視察報告

当委員会では5月23日から25日までの3日間、群馬県、埼玉県方面に行政視察を行いました。

群馬県藤岡市では、「特色ある教育活動」のうち、特に「連携型小中一貫教育について」視察を行いました。また、世界遺産に登録された「高山社跡（たかやましゃあと）の保存と活用について」現地視察を行いました。

埼玉県毛呂山町では、「オール電化方式の学校給食について」毛呂山町学校給食センターを訪問し、直接説明をお聞きしました。そこで作られた給食を試食させていただきました。

三芳町行政視察